

〔4月7日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

★4月7日締切課題は、一学年上の手本を書いて出品して下さい。

(幼・小1の方は、学年を書かなくてもよい。)

小学2年参考手本

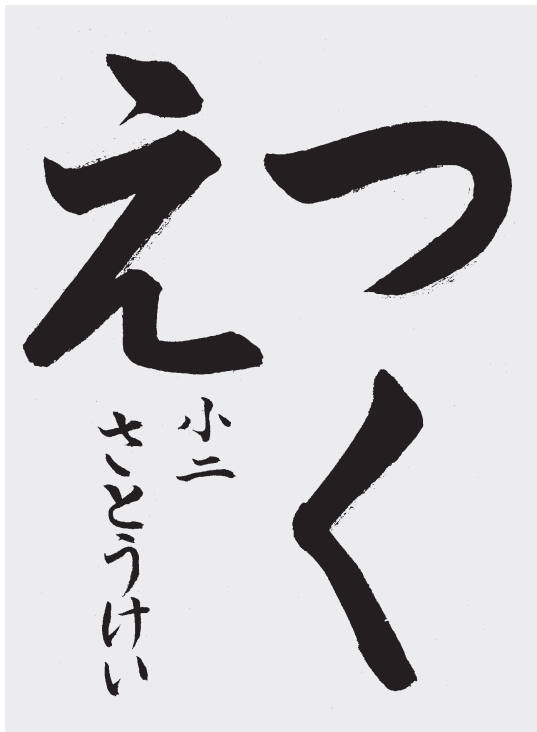


工藤永翠先生

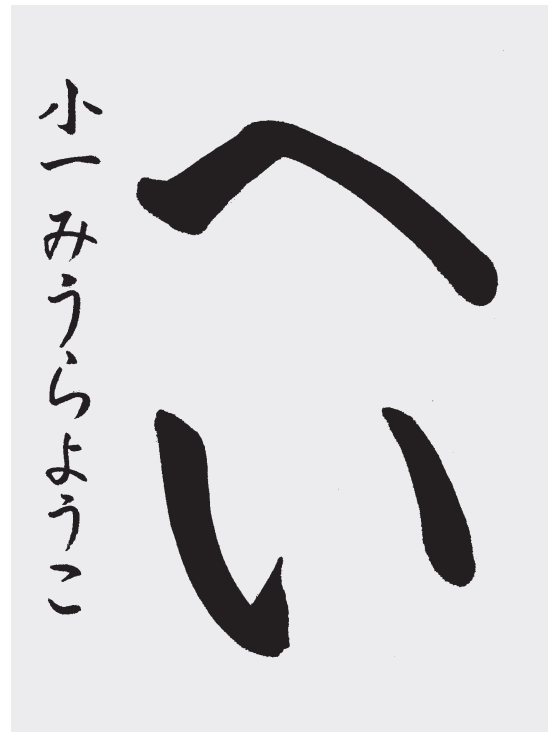
幼・小学1年参考手本



稲垣小燕先生



山口仙草先生



板垣洞仙先生

〔4月7日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

★4月7日締切課題は、一学年上の手本を書いて出品して下さい。

小学4年参考手本



三浦 鄭 街 先生

小学3年参考手本



小林 琴 水 先生



千葉 蒼 玄 先生

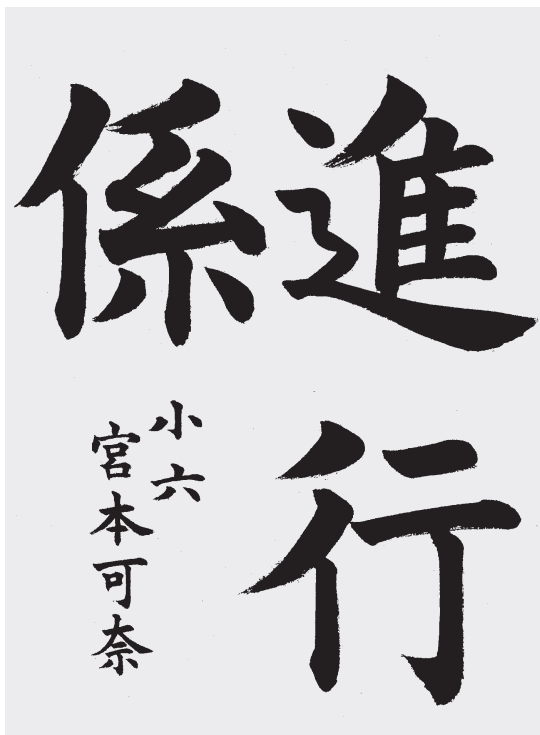


坂本 素 雪 先生

〔4月7日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

★4月7日締切課題は、一学年上の手本を書いて出品して下さい。

小学6年参考手本



名越蒼竹先生

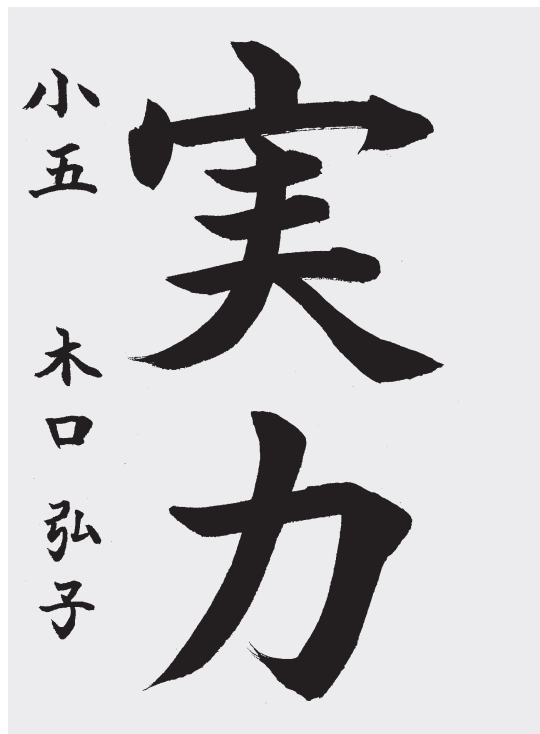
小学5年参考手本



小浜大明先生



広瀬舟雲先生

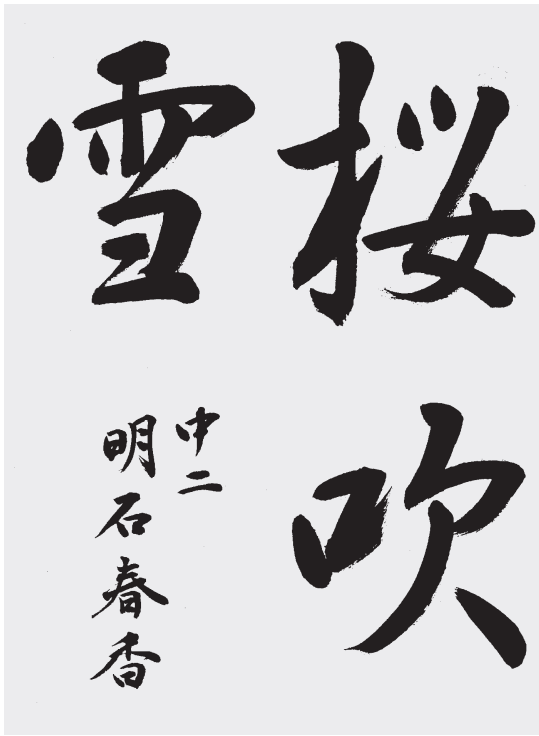


後藤大峰先生

〔4月7日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

★4月7日締切課題は、一学年上の手本を書いて出品して下さい。

中学全学年参考手本（中学生は、どの課題を書いてもかまいません。）



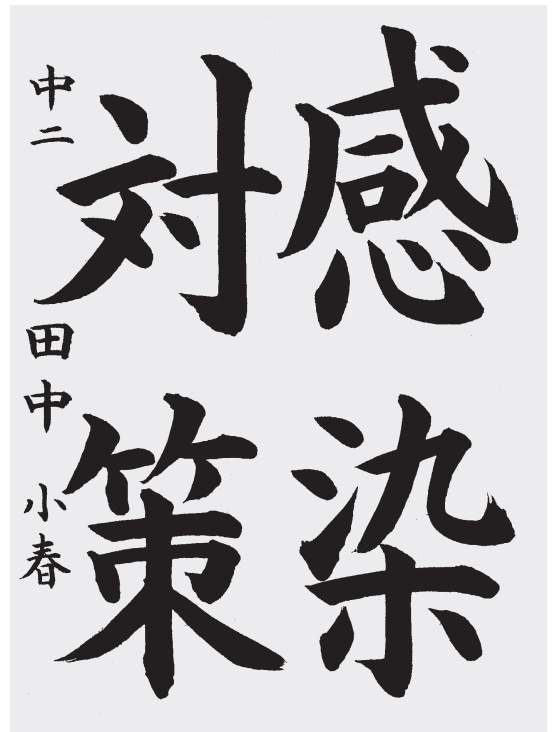
辻元大雲先生



種谷萬城先生



下谷洋子先生



小竹石雲先生





毛筆参考手本解説(2)

6年

中学

進

佳  
たて画が出る

しんにょう

〈筆順〉

イ 一 竹 佳 進 進

〈筆順〉

ノ 夕 イ 行 行 行

小の点画は  
等間隔

〈筆順〉

イ 一 一 一 係 係

中心

健

〈筆順〉

一 一 一 律 健 健

「一」はたて長に

中心

係

中心

康

〈筆順〉

一 广 广 序 康

横画が出る

感

〈筆順〉

ノ 一 后 咸 感 感

〈筆順〉

シ シ 沈 染 染 染

中心

染

〈許容〉

止め  
おのはね  
止め  
おのはね

〈筆順〉

ナ 文 文 対 対

〈許容〉

方向

中心

対

〈筆順〉

竹 竹 筧 筧 策 策

〈許容〉

止め  
おのはね

中心

策

やさしい行書

行書(ぎょうしよ)つづけ字のこと。やや丸味をもった字形になり線の連続や省略がでてきます。行書のリズムをつかんでください。

線から線へ連続

信

次につながる気がちで

念

点と点の連続

点画の連続

桜吹

点画の連続  
点画の省略

払いから横画

雪

せくくらがり

つなげる気持ちで

り  
つき返す  
連続

①山野に桜の花を求めて遊び歩くこと。花見。

②春の季語

業平(なりひら)の墓もたづねて桜狩り一素十句  
鷹狩りの異称  
皇室の遊獵地であった交野(かたの)が桜の名所であったところからいう。

ひらがなの字源

(353)

り	か	ら	く	さ	源字	字形
利	加	良	久	左		
ありり	かかか	ららら	くくく	さささ		

書写教育  
全国大学書写書道教育学会編より転載

※源字については、異字体から変遷したものに\*印を付して( )にその字体を記した。  
※字形は古筆から抽出した。上段には源字に近い草仮名を配し、中・下段にはその変遷過程等を配した。

〔4月7日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

★4月7日締切課題は、一学年上の手本を書いて下さい。

小 学 2 年

幼・小 学 1 年

支 部 名				
		ト		
		が	赤	
段・級		あ	い	
		り	ゆ	
学 年		ま	う	
	二	す	び	
名 前		す	ん	
	山	。	ポ	
	西		ス	
	広			
	人			

支 部 名				
		く	あ	
		ろ	か	
だん・きゅう		い	い	
		く	か	
がくねん		つ	さ	
	一			
なまえ				
	つ			
	く			
	だ			
	は			
	や			
	と			

硬 筆 参 考 手 本

解 説 辻 元 大 雲 先 生

『赤いポスト』  
かんじをつりあいよくかきましよう。

中心  
ポ  
とめ  
保  
へじげん  
ホ

中心  
赤  
とめ  
はね  
はらい

ゆ  
つつけるきもちでかく

『あかいかさ』  
「とめ」「おれ」「はらい」をただしくかきましよう。

中心  
あ  
とめて上へ  
大きくはらう

く  
とめる

中心  
あ  
とめておりかえすように  
大きくはらう

もとにかえすようにせまく





〔4月7日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

★4月7日締切課題は、一学年上の手本を書いて出品して下さい。

中学生（行書）

中学生（楷書）

※書写用具は、えんぴつ、フェルトペン、ボールペン。筆ペンは不可。

支部名	し、新しい生活様式が広がった。 ワークやオンライン授業を推進 コロナウイルスの流行はテレ
段・級	
学年	
名前	
江畑紗和	

支部名	し、新しい生活様式が広がった。 ワークやオンライン授業を推進 コロナウイルスの流行はテレ
段・級	
学年	
名前	
江畑紗和	

『新しい生活様式』

行がゆがまないように、整えて書きましょう。

中心をとる

ワークやオンライン授業

※漢字より、ひらがな・カタカナを少し小さく書く。

〈簡単な行書〉 楷書と行書

(楷書)

(行書)

進

点画の連続  
筆順に従って  
気持ちが続けて  
書く。

式

点画の省略 終筆の変化

流行

次に続ける気持ちで

※行書（ぎょうしよ） つづけ字のこと。

本書では簡単な行書をとりました。つづけ字のリズムをつかんでください。

# これからの作品締切日と課題

令和3年5月号～10月号までの作品締切日と毛筆課題

中学生 (全学年共通)		小6	小5	小4	小3	小2	幼・小1	締切日	
防ぐ	三密を	友情	地球	走者	小石	いちご	り	5月6日	5月
ばた	かきつ	宇宙の旅	芽生え	出会い	日つけ	うがい	てん	6月8日	6月
貢献	地域に	花束	天気図	雨水	川上	ピン	と	7月7日	7月
ことり	やまの	研究発表	節電	仕上げ	タイヤ	かえる	つの	8月6日	8月
季節	太陽の	知恵	夏至	開会	雲	ほたる	す	9月6日	9月
夢の跡	夏草や 兵どもが	選手宣誓	ソーダ水	自由形	天の川	うきわ	あさ	10月5日	10月
希望	生きる	神秘	ガラス玉	登場	月夜	ゆかた	め		
ぐれ	せみし	天体観測	達成	右はらい	花火	かさ氷	さなぎ		
虫鳴く夜	交流	防災	満月	秋風	星	えいが	よ		
えし	おみな	不言実行	敬老の日	ポスター	王さま	みのり	うみ		
の朝	秋晴れ	趣味	調査	区間	十月	川	か		
かま	ふじば	宇宙開発	演奏会	主人公	金魚	白玉	ぶどう		
				研究	白玉	ぶどう	やぎ		

5月号の硬筆課題 ※硬筆課題は、翌月課題のみ掲載しております。

幼・小1

を	み
う	ん
た	な
い	で
ま	う
す	た
。	

小 2

を	メ
か	モ
き	を
ま	も
し	と
た	に
。	作
	文

小 3

大	池
き	の
な	す
花	い
を	れ
さ	ん
か	は
せ	は
た	。

小 4

き	ら	グ
ま	赤	レ
し	か	ー
た	ぶ	テ
。	を	ル
	引	は
	き	は
	ぬ	畑
	い	か
	て	

小 5

コ	は	友
が	、	だ
あ	団	ち
る	地	と
公	の	出
園	中	会
で	の	っ
し	ブ	た
た	ラ	の
。	ン	

小 6

番	り	身
組	上	近
を	げ	な
作	て	こ
ろ	、	と
う	学	が
。	校	ら
	放	を
	送	取
	の	

中学生

な	「	国
漢	破	破
詩	れ	れ
「	て	山
春	草	河
望	木	在
」	深	り
の	し	、
一	は	城
節	は	春
	、	に



# 書写を知り 学び楽しむ



広瀬舟雲先生

講師の広瀬舟雲先生は、武蔵野大学教育学部教育学科・教授、全国大学書写書道教育学会副理事長、書道芸術院展常任総務です。著書に「刻された書と石の記憶」、共著に「国語科書写の理論と実践」などがあります。

## 第49回 封筒の書き方1

二〇二一年一月、二度目の緊急事態宣言が東京など感染者数急増の地域に発出されました。今回は、文科省より、小中高大に休講要請は出ませんでしたが、本学においては、昨秋に大学での対面授業が一部許可されたのですが、一月からのその授業を対面のまま続けるかオンラインに戻すかは、担当教員の判断となりました。昨秋は対面授業が許可されたといっても、通学できない学生のためにオンラインも同時に併用する（ハイブリッド型）指示がでていたので、教室にいる学生に話しながらパソコン画面に映っている学生にも話しかけたりしなければならぬので手間がとてかかりました。感染者急増となった中で、オンライン併用となると大学に来る人数よりも、自宅にてオンラインで受ける人数が増すのが当然となりますので、一月からまたZoomによる授業のみに戻し、今年度の後期授業は終了しました。さて、前期末は、比較的簡単に送れる郵便局の青いレターパックにて作品やレポートを郵送してもらいました。今回は、書いた作品等をあえて少し大きな茶封筒に入れて大学研究室の私宛にシッカリ表書き等を書いて郵送することを条件にして提出してもらったこととしました。今の学生に尋ねるとメールで用が足りるので、なんと封筒や手紙を書くことは、ほとんどないということでした。ゆえに郵便局へ行って、窓口から封書を出す経験をあえてしてほしかったからです。「様・先生・殿・御中」といった敬称の使い方の違いを知らない学生が多いので授業中によくお話ししました。そ

れでも「様」と記した学生が一割ほどいました。中には「廣瀬裕之宛」と記されたものが一通あったのには驚きました。これよりも今回気になった点は、封筒の裏側上部の蓋の部分に何も書いていないものがとても多かったことです。学生たちは何も書かないのはダイレクトメールの類だということを知らないようです。ここに何かしらの「しるし」を書くということは知っていても、どうして書くのかということを知らないようです。また、書いてあっても片仮名の「め（メ）」や「ばつ（×）」であったり、「アルファ（α）」であったりでどれも正しくないので、ちなみにパソコン内のワードの活字で「しめ」字を打つと、「×」が出てきます。明朝体活字の楷書の形で見ると、片仮名「め」との違いは、一画目の終筆を上に向かって撥ねていることです。行書に近いパソコンの活字で見ると一画目が逆ざりして二画目につなげて書いています。逆ざりしているところと右上の方に撥ね上げてつづけている所がアルファの字形との違いです。この活字の「しめ」の形で書いていいのですが、私は、手書きの楷書で書く時も行書体と同様に一画目を逆ざりさせてから撥ねて書いています。これ以外に「封」「緘」などという漢字を書いてもよいし、また時々「○」を記す人や、ここに絵柄などの印章を押す人もいます。小・中学校の書写の教科書に「封筒の書き方」は、必ず掲載されているものですが、なぜか浸透していません。（つづく）





## ＜お 知 ら せ＞

新中学1年生の新段・級は、下記の表のとおりです（ご確認ください）。

6年生の時の 段・級	新中学1年生の 新 段・級	6年生の時の 段・級	新中学1年生の 新 段・級	6年生の時の 段・級	新中学1年生の 新 段・級
3 級	4 級	初 段 上	優 級 上	特 待 生	二 段
4 級	5 級	初 段	優 級 上	準特待生	初 段 上
5 級	6 級	準 初 段	優 級	五 段 上	初 段
6 級	7 級	秀 級 上	優 級	五 段	初 段
7 級	8 級	秀 級	特 級	四 段 上	準 初 段
8 級	9 級	優 級 上	特 級	四 段	準 初 段
9 級	10 級	優 級	1 級	三 段 上	秀 級 上
10 級	10 級	特 級	1 級	三 段	秀 級 上
		1 級	2 級	二 段 上	秀 級
		2 級	3 級	二 段	秀 級

### 書道芸術（高校生以上の方対象）雑誌のご案内

書道芸術学生版の雑誌は中学校3年生までの競書雑誌になりますが、高校1年生からは、書道芸術（高校生以上の方対象）の競書雑誌があります。高校生になってからも、書道を続けたい中学生3年生の方はぜひご参考になさってください。

見本誌もお送りすることができますので、興味を持った方は書道芸術院までお問い合わせください。



公益財団法人 書道芸術院

〒101-0031

東京都千代田区東神田 1-16-7

東神田プラザビル 3階

TEL : 03-3862-1954

FAX : 03-3862-1957

第72回 全国学生書道展  
 〈半紙の部 大賞作品〉



(中) 渡辺 絵



(中) 川名結月



(小) 武田 みく



(高) 萩野 日菜子



(高) 小河原 雛子

「あいさつ」

公益財団法人書道芸術院 理事長 辻元 大雲

昨年春からの新型コロナウイルスの蔓延の影響は、第二派、第三派と繰り返され、年が改まっても終息する気配が感じられません。

そんな厳しい状況の中、第72回全国学生書道展は昨年11月初旬に審査を無事終え、この2月の展覧会開催に向け諸準備を進めて参りました。応募された作品は半紙・半切1/2両部門とも若干の減少はありましたが、参加団体は増加し多くの皆さんのご協力をいただきました。出品された児童生徒の皆さん、ご指導いただいた先生方、更にご家族ご友人の方々のご支援ご協力に深く感謝申し上げます。

作品は例年にも増してすっかり丁寧に書かれており、小中学生の書写としての基礎基本を踏まえており、更に高校生以上の作品は古典臨書から創作まで多彩で見応えある力作が多く、感心させられました。

またこのような状況のため帝国ホテルでの表彰式、席上揮毫会、ワークショップなどの諸行事は全て取り止めとなりました。ご理解いただきご了承くださいますようお願い申し上げます。

コロナ禍で十分な練習もできず、ご指導された先生方にとりましても、難しく困難な対応を迫られたことと思います。こんな大変な状況ではあります、だからこそ私達の書写書道文化振興のための運動は、あきらめず一歩一歩継続していかなければと思います。第74回書道芸術院展、更に学生展併催の指導者作品展示もあわせてご覧いただき、ご支援ご協力をお願い申し上げます。

〈半紙の部 準大賞作品〉



(小) 松浦 ゆら



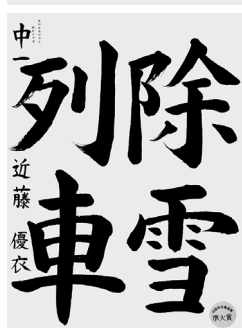
(小) 高橋 芽依



(小) 曾我 紗希



(中) 三浦 千鶴



(中) 近藤 優衣



(中) 岩床 柚芭



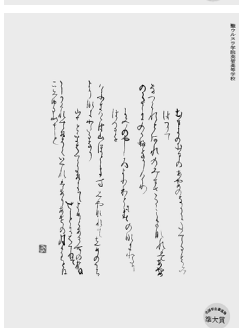
(中) 都丸 愛理



(中) 高橋 みどり



(高) 岡本 のりな

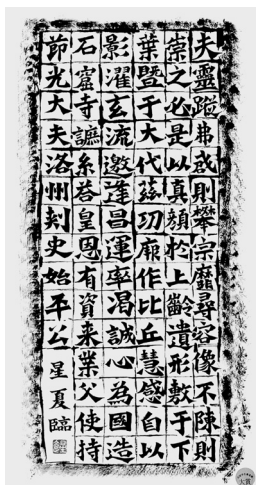


(高) 丹野 友莉香



(高) 畠中 ひより

〈半切 1/2 の部 大賞 作品〉



(高) 佐々木 星 夏



(中) 高 柿 陽 菜



(小) 中 岡 桃 子

〈半切 1/2 の部 準大賞 作品〉



(中) 掛 布 花 音



(小) 日 向 端 終 有



(高) 高 橋 李 佳



(中) 江 藤 佳 奈 恵



(中) 平 野 莉 音

第72回 全国学生書道展  
「指導者作品展」役員作品



「峯」  
顧問・名誉会員 小伏竹村



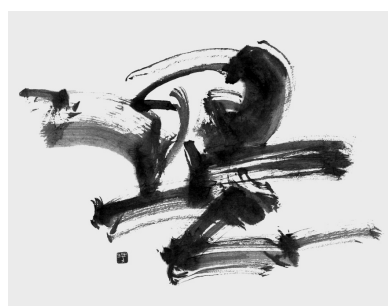
「生」  
顧問・名誉会員 香川倫子



「心海」  
顧問・名誉会員 大野祥雲



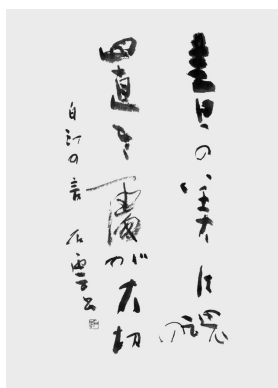
「蕪村の句」  
運営委員長 辻元大雲



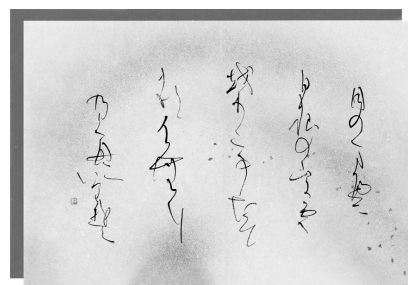
「是」  
顧問・名誉会員 浜谷芳仙



「鳥歌（詞）」  
実行副委員長 後藤大峰



「書之美」  
実行副委員長 小竹石雲



「白根の山」  
実行委員長 下谷洋子



# 書道芸術学生版 春季昇段級試験規定

・毛筆  
・硬筆

一、しめきり日 5月6日(木)

一、発表 表 5月下旬

## 毛筆の部

一、課題

○試験は次の課題文字による。

- 幼・小学校一年生 とり(かいしよ)
  - 〃 二年生 えび(かいしよ)
  - 〃 三年生 山里(かいしよ)
  - 〃 四年生 決定(かいしよ)
  - 〃 五年生 花粉(かいしよ)
  - 〃 六年生 太陽(かいしよ)
  - 中学校一年生 熱意(楷書か行書)
  - 〃 二年生 菜園(楷書か行書)
  - 〃 三年生 海峡(楷書か行書)
- 一、受験料 各部一点 五〇〇円

毛筆  
硬筆 } 共 一人一点

○受験料は、指定の振替用紙で締切日までに送金のこと。

一、書 体

○小学生は楷書(かいしよ)

○中学生は楷書または行書

一、清書には、「学年」「氏名」を受験生本人が毛筆で書く。(幼・小一の方は、学年を書かなくてもよい)

一、受験票

応募書類と同送される段級が印字された「昇段級試験用」バーコード出品券を清書の右下にしっかりと貼付する。

(毛筆・硬筆共)

のりしろ	
神田 書道 太郎	
	① 1013021200013 五段
昇試 (5月6日締切)	
① 毛筆	
神田 中3	
書道 太郎	
五段	
	1013021200013

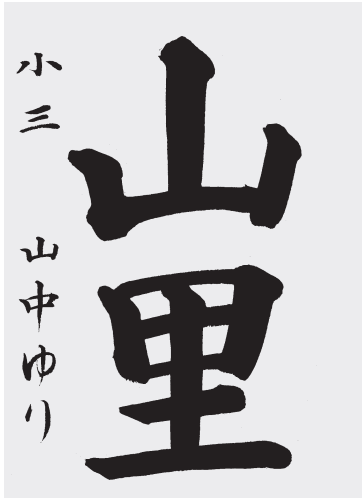
○応募書類は4月下旬に6月号といっしょに、受験番号を記入した応募書類と「昇段級試験用」バーコード出品券を送付します。

○毛筆・硬筆とも左図のように記入して出品する。  
作品中央下に赤字で団体番号を記入する。

一年	しよどう	たろう				
			と	り		
			○	○	○	○
			↑	1001		
			例	団体番号		

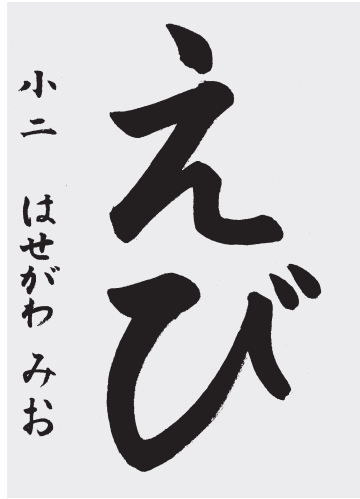
※5月号の購読部数を越える受験はできません。

小学 3 年



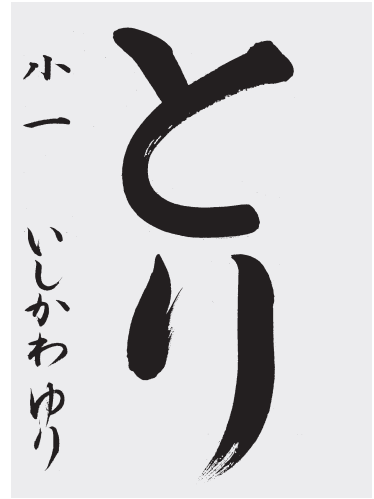
川島舟錦先生

小学 2 年



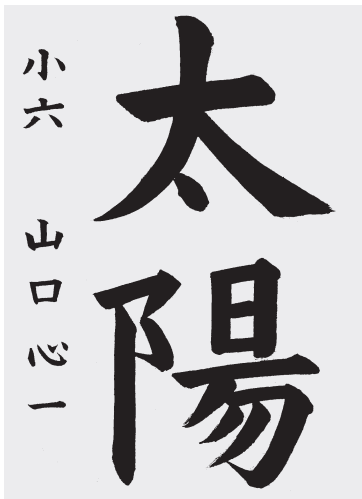
名越蒼竹先生

小学 1 年



川島舟錦先生

小学 6 年



広瀬舟雲先生

小学 5 年



名越蒼竹先生

小学 4 年



広瀬舟雲先生

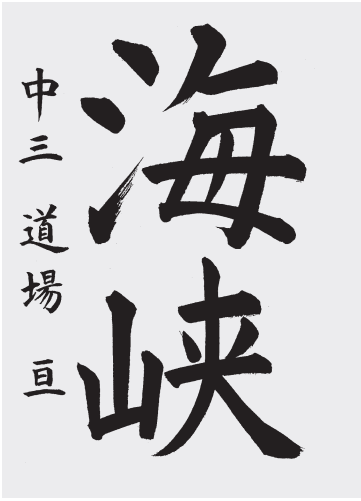


中学 3 年

中学 2 年

中学 1 年

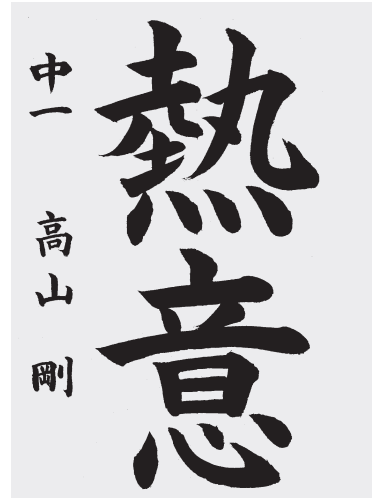
楷  
書



種 谷 萬 城 先 生



辻 元 大 雲 先 生



小 竹 石 雲 先 生



種 谷 萬 城 先 生



辻 元 大 雲 先 生



小 竹 石 雲 先 生

行  
書

硬筆の部

- 一、くわしい規定は、「毛筆」と同じです。
  - 一、用紙は、本院指定のものを使用するか、もしくは指定の用紙をコピーして、原紙の大きさにあわせて切って出品する。○学年相当の用紙で書く。
  - 一、課題（各学年用）参考手本通りに書く。
  - 一、「空欄」「。」「、」も正しく書く。
- 一、課題

小学 1 年

支 部 名			
段・級			
学 年	一		
名 前	ササキ ユメ	おにごっ	こを
	してあそんだ。		

小学 2 年

支 部 名			
段・級			
学 年	二		
名 前	大谷りょう	み	フランスから手が
		が来ました。	

小学 3 年

支 部 名			
段・級			
学 年	三		
名 前	林小百合	葉が三まいになっ	
	たので植えかえた。		

小学 4 年

支 部 名			
段・級			
学 年	四		
名 前	浅野光春	市章を調べてみると	
		いろいろな意味がある	
		ことを知りました。	

- 一、清書には、「学年」「氏名」を受験生本人が書く。
  - 一、幼・小一の方は学年を書かなくてよい。
  - 例「ささき ゆめ」
  - 支局、支部名は、本人が書けない場合はゴム印でもよい。
  - 一、受験票は、応募書類と同送される段級が印字された「昇段級試験用」バーコード出品券を清書の右下にしっかり貼付する。
- ※5月号の購読部数を越える受験はできません。

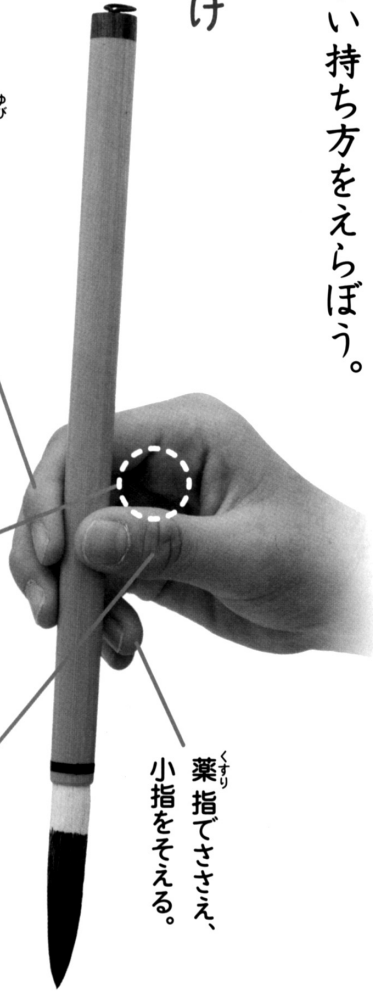


# 筆ふでの持もち方

正しい持ち方をたしかめよう。

▼書きやすい持ち方をえらぼう。

二本がけ

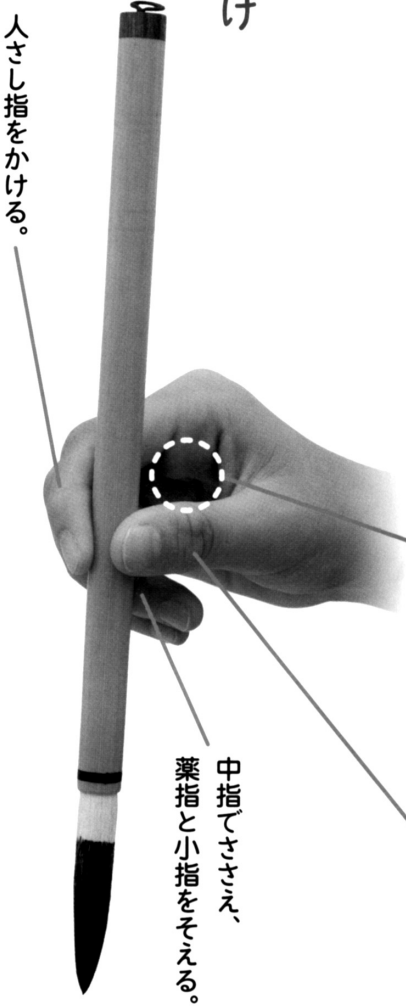


中指でささえ、  
薬指をそえる。

指が二本入るくらいの  
すき間を空ける。  
親指は、真横に向ける。

人さし指ゆびと中指をかける。

一本がけ

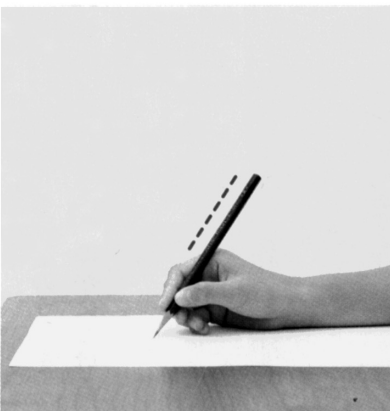
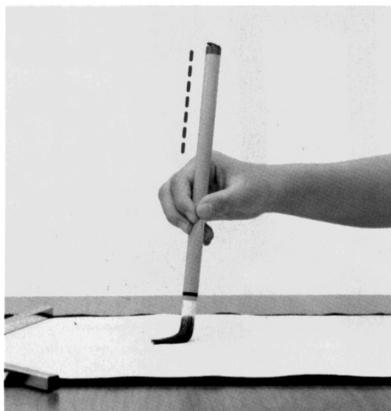


中指でささえ、  
薬指と小指をそえる。

人さし指をかける。

じくのかたむき

筆は、えんぴつよりも  
立てて持つ。



幼・1年

り  
小一 たむらあや

てん  
小一 やましたちえ

2年

ごいち  
小二 石田ゆい

いうが  
小二 ひせなこい

3年

小石  
小三 松山紀子

け日づ  
小三 林あや

4年

走者  
小四 木下駿

い出会  
小四 平岡新奈

5年

地球  
小五 尾形崇

え芽生  
小五 山本花子

6年

友情  
小六 石井明夫

の宇  
小六 山田寛子

中学

大志  
中一 新山直人

起承  
中一 小野裕

三密を  
中二 田中実

かきつ  
中三 山浦ゆり子

編集余録

○第72回全国学生書道展が無事閉幕いたしました。指導者の先生方、頑張って作品を出品してくださった皆さん、ありがとうございました。今月号に半紙の部・半切二分の部の大賞・準大賞の作品、そして指導者展役員作品を掲載しました。また書道芸術院のホームページに学生展の会場風景の動画が掲載されております。ぜひご覧ください。

○今月号から新しい学年の課題になりますので間違えないように注意してください。

○新中学一年生になる方は現在（6年生）の段級を基にして移行基準に従った新しい段級で始めていただきます。今月号のP40に基準表がありますのでご確認ください。

○春季昇段級試験の課題と毛筆・硬筆の参考手本を掲載しました。是非、参考にしてください。作品の締め切りは5月6日（木）です。力作をお待ちしております。

○中学を卒業される方で書道が続けたい人は高校生以上対象の競書誌「書道芸術」があります。

ご検討よろしくお願いいたします。

（菜穂）